

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 天羽 正継	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <ul style="list-style-type: none">・旧産業研究所から引き継がれた地域科学研究所の研究プロジェクト「高崎市製造業の存立基盤に関する研究」の研究成果として『地方製造業の展開—高崎ものづくり再発見』（日本経済評論社）が2017年3月30日に刊行されたが、そのうち第3章「高崎市における製造業の動向と振興策」の執筆を担当した。・文部科学省科学研究費（基盤研究B）「地方債の動態的実証分析」（研究代表者：東京大学経済学部教授・持田信樹氏）の連携研究者として、数回の研究会に参加した。・従来からの研究テーマである日本の地方債の歴史的研究について、制度の形成過程に関する部分について執筆を行った。	
<p>2 その他の事項</p> <ul style="list-style-type: none">・ゼミでの成果<ul style="list-style-type: none">・第2期生のサブゼミ論文集（テーマ：群馬県内市町村の財政分析）と卒業論文集を刊行した。・2016年9月5・6日に第3期生の夏季合宿を行った（内容：サブゼミの報告（テーマ：高崎市の福祉政策））。・2017年2月18日に新潟大学五十嵐キャンパスにおいて、同大学経済学部の根岸ゼミと合同ゼミを行った（2・3年生、内容：グループディスカッションとプレゼンテーション）。・2016年6月16日に群馬県立富岡東高等学校において、2016年10月27日に群馬県立沼田女子高等学校において出前授業を行った。・2016年12月17・24日にラジオ高崎で放送された「ラジオゼミナール」に出演した（テーマ：所得税）。・2016年11月18日に渋川市役所で開催された第2回渋川市行政改革推進委員会に委員として出席した。	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>【研究】従来からの研究テーマである日本の地方債の歴史的研究を引き続き進めることに注力したい。上記のように、今年度は制度の形成過程に関する部分について執筆を行い、完成させることができたが、これは全体の研究の始まりの部分に過ぎない。そこで次年度以降は、その後の政策展開の分析や、数量的な分析を進めていきたいと考えている。また、この他にも執筆予定の論文があり、これについても進めていく予定である。</p> <p>【教育】ゼミ教育については、今年度3年生の第3期生には論文の書き方を一から学び直す教育を行ったので、次年度はそれを基にして質の高い卒業論文を書けるよう、指導を行っていく。次年度3年生となる第4期生については、市町村財政分析の手法を一から学び、サブゼミでそれを群馬県内の市町村を題材として実践していく。講義については、「市場と経済」では基礎知識の丁寧な解説を、「財政学」では基礎知識の解説とともに現実の財政現象を解き明かすという複眼的な視点を心掛けながら授業を行っていきたいと考えている。</p>	